

令和4年度 さつきが丘地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

コロナの影響が長期化した事により浮き彫りとなった、福祉における課題の多様化(介護保険に関する相談、障害、権利擁護、子育て、孤立化及び8050問題に代表される、個別課題の複合化等)が急速に進む中、感染拡大を防ぎつつ、新たな地域ニーズへの対応も含めた支援を継続的に行う必要がある。ケアプラザ一体となり、担当エリアの特性(課題だけでなく地域資源も含む)を、これまで蓄積してきたデータから把握し、新たな社会資源開発も視野に入れつつ区役所ほか関係機関と連携をとりながら体制の充実を図っていく。高齢者や障がい者の社会参加、活動の機会減少が顕著であることから、新しい生活様式に対応した持続可能な支援策を講じる必要がある。各職種の専門性を活かして高齢者をはじめとする地域住民の活動の場を積極的に創出していくことで、孤立化予防、全世代・多世帯のつながりづくりに繋げていく。新たな生活様式に関連した、地域課題の解決に向けて、住民と話し合い交流し取り組む地域を目指していく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	認知症に関する事業の継続(認知症サポーター養成講座、カフェの開催、介護者のつどい等)と5職種連携による新規チームオレンジ(モデル事業)の実施。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	多世代の住民を対象とした担い手育成のための事業を実施する(地域のお助け隊さつき、珈琲ボランティア、介護予防ボランティアなど)。よこはまシニアボランティアポイント登録会のほか、高齢になっても活動が継続できる魅力ある講座や居場所の提案を行う。新しい生活様式に沿ったボランティア活動を創出し、ケアプラザ内だけでなく地域でのボランティア活動をコーディネートしていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	青葉台地区社会福祉協議会、連合自治会、青葉台地域ケアプラザや恩田地域ケアプラザなど圏域を超えた各団体と協働し、住民の社会参加を促すような企画を実施する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	コロナの影響で、対面でのコミュニケーションのあり方を変えざるを得ない状況下、すべての事業において、整備が進んだICT環境を活用し、ZOOMやWebなどの手法も取り入れ、より豊かな地域のつながりを目指していく。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和4年度さつきが丘地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	相談を受理した場合、相談者のご意向を十分に聞き取り、有効な情報を一覧にして複数提示し、相談者の自己決定を尊重するよう支援する等、情報提供が特定の事業所や種類に偏らないように、利用者及び事業所に対して中立・公平な立場で引き続き対応する。	事故防止に関しては、当法人作成の「事故対応マニュアル」の周知と研修の実施により、事故防止を呼びかけ、また事故発生時には、速やかに対応し、青葉区役所や横浜市への報告も行うように教育を徹底していく。 「個人情報取扱規程」に基づき、漏洩防止・保護に努める。 個人情報保護方針・個人情報問い合わせ担当者などを決めて、玄関に掲示し、ご利用者からの問い合わせ等に真摯に対応していく。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>日々の相談業務・アセスメント・モニタリング・担当者会議等を丁寧かつ適切に行い、ご本人ご家族の要望をききつつ、自立や強みを生かした支援・計画作成に取り組む。</p> <p>3職種による、対象者へのコンサルテーション、方針の確認を随時行う。</p> <p>要支援者の自立・介護予防を目指した在宅生活を念頭に、利用者・事業所を問わず公正・中立性の確保を常に意識しながら計画を整える。</p> <p>担当者会議、運営推進会議、地域ケア会議、介護予防従事者研修など様々な機会をとらえ関係者や対象者に、地域情報・課題を周知する。</p> <p>広報誌やチラシにインフォーマル情報等をわかりやすく掲載し、ケアマネジャーがプラン作成時に生かせるよう心掛ける。</p>	<p>特定事業所加算Ⅲを算定する事業所として、計画的な研修実施及び職員一人一人の個別研修計画を作成、ケアマネジメント技術を向上することにより質の高い相談支援を行い、利用者様ご家族様がご不安なく自立した在宅生活をお送りすることが出来るよう支援する。</p> <p>また24時間の相談連絡体制を確保し、支援困難なケースや緊急でサービス利用を希望される方のご相談など、地域包括支援センターと連携し、積極的に受け入れる。</p> <p>(1)利用者様の意志及び人格を尊重し、常に利用者様の立場に立ち、提供されるサービスが特定の種類・事業所に偏らないよう公正中立な立場で支援を行う。</p> <p>(2)利用者様の能力に応じ、自立した生活を維持するために適切なサービスが受けることが出来るよう心身の状況や環境、必要時応じ介助者等ご家族の希望も考慮し、要介護状態の悪化防止となるようケアプランの作成を行う。</p> <p>(3)利用者様宅を定期訪問しサービス内容についてモニタリングを行い、サービスの実施状況の把握・サービス調整の必要性について確認を行う。</p>
利用料金・実費負担		
職員体制	<p>管理者 1名(常勤 兼務)</p> <p>社会福祉士 1名(常勤 専従)</p> <p>保健師 1名(常勤 専従)</p> <p>主任ケアマネジャー 1名(常勤 専従)</p> <p>プランナー 2名(非常勤 専従)</p>	<p>管理者 1名(常勤兼務)</p> <p>介護支援専門員 4名(常勤専従2名) (非常勤専従2名)</p>
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	ご利用者様のQOL(生活の質)向上を図り、可能な限り在宅生活を送る事ができるように、各職種職員と連携を図り、レクリエーションや地域交流、入浴、食事、機能訓練、生活リハビリ等の、質が高く、信頼されるサービスを提供していく。		
実施体制	【実施日数】週6日 【提供時間】9:30～16:30 【定員】35名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実負担	<p>●介護保険自己負担分 :1割負担 : 2割負担 : 3割負担 要支援1:1792円/月:3585円/月 : 5377円/月(週1回) 要支援2:1792円/月:3585円/月:5377円/月(週1回) 要支援3:3675円/月:7350円/月:11024円/月(週2回)</p> <p>要介護1:702円/回:1,404円/回:2,107円/回 要介護2:829円/回:1,657円/回:2,486円/回 要介護3:961円/回:1,921円/回:2,882円/回 要介護4:1,091円/回:2,183円/回:3,274円/回 要介護5:1,224円/回:2,448円/回:3,673円/回 (別途、要介護者:入浴加算Ⅰ、個別機能訓練加算Ⅰイロ、サービス提供 体制強化加算Ⅱ、個別機能訓練加算Ⅱ、科学的介護推進体制加算、処遇改善加算Ⅰ、特定処遇改善加算Ⅱ) (別途要支援者:運動器機能向上加算、サービス提供強化加算Ⅱ、科学的介護推進体制加算、 処遇改善加算Ⅰ、特定処遇改善加算Ⅱ) ●食費負担 750円</p>		
職員体制	管理者 :1名(常勤兼務) 生活相談員:3名(常勤兼務3名) 看護師 :3名(非常勤兼務3名) 機能訓練指導員:4名(常勤兼務1名、非常勤兼務3名) 介護職員 :10名(常勤兼務4名・非常勤6名) 調理員 :5名(委託業者 非常勤5名) 運転手 :5名(非常勤5名)		
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「さつきが丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	13,492,683		13,492,683		13,492,683	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
雑入	21,120	0	21,120	0	21,120	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	21,120		21,120		21,120	
その他	0		0		0	
その他	4,535,167		4,535,167		4,535,167	
収入合計	18,048,970	0	18,048,970	0	18,048,970	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	8,623,850	0	8,623,850	0	8,623,850	
本俸	6,700,912		6,700,912		6,700,912	
社会保険料	639,340		639,340		639,340	
手当計	1,199,801		1,199,801		1,199,801	
健康診断費	4,297		4,297		4,297	
勤労者福祉共済掛金	79,500		79,500		79,500	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
その他	0		0		0	
事務費	2,351,120	0	2,351,120	0	2,351,120	
旅費	30,000		30,000		30,000	
消耗品費	90,000		90,000		90,000	
会議随費	3,000		3,000		3,000	
印刷製本費	258,178		258,178		258,178	
通信費	333,000		333,000		333,000	
使用料及び賃借料	20,000	0	20,000	0	20,000	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,120		21,120		21,120	
その他	0		0		0	
備品購入費	80,000		80,000		80,000	
図書購入費	5,000		5,000		5,000	
施設賠償責任保険	37,440		37,440		37,440	
職員等研修費	36,000		36,000		36,000	
振込手数料	24,420		24,420		24,420	
リース料	1,224,082		1,224,082		1,224,082	
手数料	175,000		175,000		175,000	
地域協力費	15,000		15,000		15,000	
その他	20,000		20,000		20,000	
事業費	500,000	0	500,000	0	500,000	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	264,000		264,000		264,000	
その他	194,000		194,000		194,000	
管理費	6,100,000	0	6,100,000	0	6,100,000	
光熱水費	3,300,000		3,300,000		3,300,000	
清掃費	594,188		594,188		594,188	
機械警備費	137,605		137,605		137,605	
設備保全費	1,463,763	0	1,463,763	0	1,463,763	
空調衛生設備保守	560,513		560,513		560,513	
消防設備保守	38,932		38,932		38,932	
電気設備保守	34,065		34,065		34,065	
害虫駆除清掃保守	36,012		36,012		36,012	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	794,241		794,241		794,241	
共益費	0		0		0	
その他	604,444		604,444		604,444	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	18,048,970	0	18,048,970	0	18,048,970	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	264,000	0	264,000	0	264,000	
自主事業 収支	△ 264,000	0	△ 264,000	0	△ 264,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	21,120	0	21,120	0	21,120	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	0	21,120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

*各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「さつきが丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	24,395,427		24,395,427		24,395,427	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000		5,802,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	300,000		300,000		300,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	0		0		0	
収入合計	30,651,427	0	30,651,427	0	30,651,427	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,152,427	0	25,152,427	0	25,152,427	
本俸	14,407,009		14,407,009		14,407,009	
社会保険料	2,640,955		2,640,955		2,640,955	
手当計	7,707,045		7,707,045		7,707,045	
健康診断費	20,058		20,058		20,058	
勤労者福祉共済掛金	377,360		377,360		377,360	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
その他	0		0		0	
事務費	2,519,000	0	2,519,000	0	2,519,000	
旅費	45,123		45,123		45,123	
消耗品費	63,849		63,849		63,849	
会議謝礼金	11,448		11,448		11,448	
印刷製本費	145,030		145,030		145,030	
通信費	333,028		333,028		333,028	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	100,000		100,000		100,000	
図書購入費	15,000		15,000		15,000	
施設賠償責任保険	26,428		26,428		26,428	
職員等研修費	60,000		60,000		60,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	1,224,082		1,224,082		1,224,082	
手数料	45,000		45,000		45,000	
地域協力費			0		0	
その他	440,012		440,012		440,012	
事業費	1,254,000	0	1,254,000	0	1,254,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	40,000		40,000		40,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	130,000		130,000		130,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	300,000		300,000		300,000	
その他			0		0	
管理費	1,600,000	0	1,600,000	0	1,600,000	
光熱水費	300,000		300,000		300,000	
清掃費	375,000		375,000		375,000	
機械整備費	87,000		87,000		87,000	
設備保全費	838,000	0	838,000	0	838,000	
空調衛生設備保守	253,000		253,000		253,000	
消防設備保守	25,000		25,000		25,000	
電気設備保守	45,000		45,000		45,000	
害虫駆除清掃保守	45,000		45,000		45,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	470,000		470,000		470,000	
共益費	0		0		0	
その他	0		0		0	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	30,651,427	0	30,651,427	0	30,651,427	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	324,000	0	324,000	0	324,000	
自主事業 収支	△ 324,000	0	△ 324,000	0	△ 324,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: さつきが丘地域ケアプラザ

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入				3,825		3,825	18,640		18,640	78,999		78,999			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,100	0	7,100	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0	7,100		7,100			0
	収入合計(A)	0	0	0	3,825	0	3,825	18,640	0	18,640	86,099	0	86,099	0	0	0
支出	人件費			0	1,563		1,563	14,236		14,236	41,386		41,386			0
	事務費			0	37		37	3,235		3,235	17,791		17,791			0
	事業費			0			0	470		470	12,660		12,660			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他			0	0	0	0	423	0	423	732	0	732	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0	423		423	732		732			0
	支出合計(B)	0	0	0	1,600	0	1,600	18,364	0	18,364	72,569	0	72,569	0	0	0
	収支 (A) - (B)	0	0	0	2,225	0	2,225	276	0	276	13,530	0	13,530	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業

- 1: 地域活動交流事業 2: 地域包括支援センター運営事業
- 3: 生活支援体制整備事業 4: 共催 (1と2) 5: 共催 (1と3)
- 6: 共催 (2と3) 7: 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1: 優先的に取り組みが求められる事業
- 2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1: 高齢者 2: 障害児・者 3: 養育者及び乳幼児
- 4: 子ども・青少年 5: 地域 6: 事業者
- 7: その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	秋まつり	H12	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の方へのケアプラザの周知。活動ボランティアの活躍の場の提供。地域住民の方々の世代間交流。	5:地域		7 10月末実施予定。		
2	ケアプラザ広報紙「ひろば」	H12	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザ及び福祉保健活に関する情報発信、ボランティアの発掘(募集)等	5:地域		7 年10回ケアプラザ広報紙「ひろば」を発行し、地域に回覧・掲示等を行う。		
3	貸館説明会	H28	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	感染症拡大予防を考慮した、新ルールを周知する。	5:地域		7 6月に実施予定。 新しい生活様式に沿った貸館利用ルールの地域向けの説明会		
4	手作り楽器製作	H29	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	夏休みの子供余暇支援事業。青葉区民文化センターと協働し、地域のコミュニティーをひろげる。	4:子ども・青少年		2 夏休みに「楽器」づくりをケアプラザで行い、8月に行われる合同コンサートで演奏する。		
5	地域子育て座談会	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	青葉台地区に転入してきた親子の地域デビューのきっかけ作り。同年代の仲間作り。	3:養育者及び乳幼児		5 昨年度の「地域子育て散歩」を踏まえ、形態を「散歩」から「座談会」に変更して実施。先輩ママさんボランティア、青葉台CP、地域の子育て拠点と協働し、座談会の企画、運営する。		
6	さつき草むしりリーダー	R2	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	団体間の交流。ケアプラザの環境保全。ちよこボラさつきの活動の周知。	5:地域		7 5月実施予定。 日頃貸館を利用されている団体からボランティアを募り、「ちよこボラさつき」の指導のもと、ボランティアの皆様と一緒にケアプラザの草むしり、園芸作業を行う。		
7	四季のコンサート	H28	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	子育て世代へのボランティア活動への参加の働きかけ。	5:地域		7 親子向け七夕コンサート、絵本コンサート、冬のコンサートと、季節、聞き手の年齢に合わせた内容のコンサート。		
8	子育てワイワイ広場	H16	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	就学前の親子の居場所づくり	3:養育者及び乳幼児		5 親子が予約なしに自由に集える場所。民生委員や地域のボランティアの見守りの中、子どもを遊ばせ、母親にリラックスした時間を提供する。同時に子育ての悩みや問題を受け付ける窓口があることを周知する。		
9	ニコピカ歯磨き	H18	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の親子の口腔衛生の啓蒙活動	3:養育者及び乳幼児	4,5	区役所との共催事業。年齢にあわせたオールケアの講話や虫歯のチェックを行う。		
10	さつき川柳の会	R2	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	集わなくても参加できる活動の幅を広げ、団体間のつながりを広げる。	5:地域		1 リモートで繋がる事業として、毎月題目を決めて川柳を募集し、選考委員会が優秀作品を選考。同時に参加者間の人気投票も行う。 掲示物のデザインは、さつきPCIに依頼。		
11	書初め練習講座	R2	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	書道を通じて地域の小中学生の交流の場作りと多世代交流の場を提供する	4:子ども・青少年		5 エリアの小学校の冬休みの課題となる書初めを、地域のボランティアを講師とし、指導していただきケアプラザで仕上げる。		
12	みんなの学習室	H28	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	小中学生の学習支援の場の提供	4:子ども・青少年		7 こども家庭支援課、あおばコミュニティラスとの共催事業。現在内容を検討中。		
13	子育てワイワイ広場	H16	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	就学前の親子の居場所づくり	3:養育者及び乳幼児		5 親子が予約なしに自由に集える場所。民生委員や地域のボランティアの見守りの中、子どもを遊ばせ、母親にリラックスした時間を提供する。同時に子育ての悩みや問題を受け付ける窓口があることを周知する。		
14	はなみずき	H23	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	地域の高齢者の安否確認と見守り。栄養バランスの良い昼食の提供。	1:高齢者		5 月1回の配食サービス。ボランティアによりケアプラザで調理された手作り弁当を予約された方に配食。作り手だけでなく、配達もボランティアに参加いただいている。		
15	おもしろ科学工作教室	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	夏休みの余暇支援と自由研究課題への活用 地域の子供の居場所と交流の場の提供	4:子ども・青少年		5 NPO法人おもしろ科学たんけん工房と協働。子供たちに科学の面白さを紹介する実験とL工作を通してモノづくりの喜びを体験。		
16	初めての包丁研ぎ講座	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域での仲間作り ボランティア活動の場の創出	5:地域		7 地域の包丁研ぎボランティアの方を講師に迎え、家庭の包丁の研ぎ方を学ぶ。		

■ 事業

- 1: 地域活動交流事業 2: 地域包括支援センター運営事業
 3: 生活支援体制整備事業 4: 共催(1と2) 5: 共催(1と3)
 6: 共催(2と3) 7: 共催(1と2と3)

■ 事業の性質

- 1: 優先的に取り組みが求められる事業
 2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1: 高齢者 2: 障害児・者 3: 養育者及び乳幼児
 4: 子ども・青少年 5: 地域 6: 事業者
 7: その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
17	歌の集い	R4	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	地域での仲間作り 音楽ボランティアの育成 介護予防(オーラルフレイル)	5: 地域		マスクをつけ、密にならない距離を保ちながら、キーボードの伴奏にあわせて懐かしい歌を歌います。発声練習、口の体操等も取り入れ、フレイル予防に役立てる。		
18	「あんしんキーパー」養成講座	R3	7: 共催(1と2と3)	2: 発展させるねらい	地域の障害に対する理解促進のための講座開催。障害分野の見守りボランティアの育成、新たなボランティア活動の提案。	5: 地域		R3に実施した同講座を踏まえ、8月より実施予定。青葉区基幹相談支援センターほつぷ、青葉台地域活動ホームすてつとぶとの共催事業。導入講座、施設見学、当事者との交流を含む4回連続講座。		
19	クイズラリー	R3	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	外出の機会が減った地域の方々の外出支援、健康増進、	5: 地域		4-6月実施予定。青葉台CP、恩田CPとの共催事業。3館1レー形式で開催。ケアプラザで配布されたカードに従って、地域の掲示板を巡り、掲示されたクイズに回答後、参加カードをケアプラザに提出する。		
20	新しい生活様式に沿ったボランティアコーディネーター	R3	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	新しいボランティア活動の提案と創出。 新しい形の担い手の発掘	5: 地域		貸館説明会等を利用し、情報共有を行う。受付にボランティア募集の掲示を行う。手芸カフェを開催し、クイズラリー等の参加賞の作成のサポートをしていた。		
21	よこはまシニアボランティアポイント研修会(サービスB団体向け)	R4	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	・サービスB「ポボロ」へ、現スタッフ、元スタッフへボランティアの創出の機会 ・受入れ施設として新スタッフへの研修開催	1: 高齢者		4/20実施予定。よこはまシニアボランティアポイントの説明をパワーポイントを使って説明する。 ボランティアを始めるに当たっての心構えや、受入れ施設として出来ることを考えていく。		
22	よこはまシニアボランティアポイント研修会	R4	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者へ、よこはまシニアボランティアポイントの周知。 ボランティア活動への促し。	1: 高齢者		65歳以上になった高齢者へ、よこはまシニアボランティアポイントについての研修を開催。地域のボランティア活動の紹介をする。		
23	つつじカフェ	H29	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	ケアプラザから遠方の方を対象とした認知症カフェの開催	1: 高齢者		つつじが丘のレンタルスペースをを利用した住民が気軽に集える居場所、交流の場の提供 認知症等の情報提供と相談受付(年10回)		
24	しらとりカフェ	H28	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	しらとり台地区の住民を対象とした認知症カフェの開催	1: 高齢者		しらとり台の店舗施設利用した住民が気軽に集える居場所、交流の場の提供 認知症等の情報提供と相談受付(年10回)		
25	介護者のつどい	H19	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護者の心身の負担軽減 介護に関する地域や技術を学び、介護者同士の情報交換、交流	1: 高齢者		介護者・介護サービス事業所職員等を招いての茶話会(年10回)		
26	チームオレンジ	R4	7: 共催(1と2と3)	2: 発展させるねらい	認知症になっても住み慣れた町でいつまでも健康に安心して暮らしていただく為に必要な情報を総合的に提供する。地域住民が支えあえる仕組みやネットワーク作り。支援者の発掘・育成。	1: 高齢者		認知症支援ネットワークづくりのための勉強会・講演会(年数回)開催、定例会議(情報共有)原則月1回、認知症カフェの活性化など R4年度 年間を通して取り組む		
27	認知症サポーター養成講座	H27	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	認知症の理解促進と担い手の発掘、育成	5: 地域		小中学校、一般向けに認知症サポーター養成講座の開催(小学校2回、中学校1回、一般1回程度)		
28	権利擁護講座	H25	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	主に高齢者を対象とした住民の権利擁護、高齢者虐待などの理解促進	1: 高齢者		講師を招き、権利擁護等をテーマとした講座を開催(年2回)		
29	わたしノート講座	H29	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	青葉区版エンディングノート「わたしノート」の普及啓発	1: 高齢者		地域住民向けに青葉区版エンディングノート「わたしノート」の普及啓発(年1回)		
30	オレンジキャンドル手作り会	R4	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	認知症への理解促進と普及啓発	5: 地域	2.4	多世代を対象とし、チラン等や認知症カラーのオレンジキャンドル作成を地域住民と行い、認知症への普及啓発を行う。作品は、地域で、9月のアルツハイマー月に灯す。		
31	ミニウォーキング「地域を歩いてみませんか」	R4	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	高齢者へ外出支援 地域情報の収集	1: 高齢者		クイズラリーを利用し、日頃1人で歩くことをためらう高齢者の外出を支援する。同時に地域情報を収集する。		
32	GOGOスマイル健康講座	H25	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護予防普及啓発事業	1: 高齢者		高齢者・地域住民の介護予防のため、口腔栄養運動ハマトレ・フレイル予防・認知症予防に関する講座を実施し、地域におけるアクティブポジティブエイジングを推奨する。		
33	脳トレハマトレ認知症予防講座	R1	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	認知症予防について地域住民が実践する場を支援。広く地域住民に普及し継続的に認知症について学ぶ講座。チームオレンジ事業。	1: 高齢者		認知症予防・社会参加促進のため、認知症について学び、予防に必要な知識や活動について習得し実践する。チームオレンジの担い手として育成する。		